

光明禪寺

第521号

令和八年二月

現在に活きる
仏の教え

電話 214127

(2回線)

ケイタイ

0907981

79123

~~~~~

FAX

24

3519

(県・市・文化財指定安置所)  
六九一〇四二指宿市十町二七六八南迫田

## 二月の行事

一開運・星祭 やく払い法要

節分三日午前10時・昼2時・夜7時30分  
立春四日午前10時

人間は、いろいろなことをする能力をもつてゐる。心理学者は、人間が能かの10%しか使っていないといふ。しかし、10%以上の人もいる。そのような人は、自分に何ができるかを探し求めて、限界を押し上げるのだ。

一 晚天竺禪会(初二日曜(ハ日))  
初二日(十五日)朝六時

一 繹迦如来涅槃会法要

十五日 二時

自分の心の中で、正しく信じている事とすればいい。どうにしても非難を逃れることはできないんだ。

あなたには悪くないのは私がよく知っているよ。だから泣かないで。

(仏さまの言葉本)

一地藏尊・水子供養會  
二十四日 二時

おわび

新聞のチラシの中に2日節分 3日立春  
となっていましたが、まちがいで、ただし  
くは三日節分・四日立春となっていました。  
まちがいのないようにようしく  
お願ひ申します。

### 節分ってなあに

春、夏、秋、冬の四季の交わり目  
を節分といつのです。今では二月の初  
めごろの冬から春への交わりめの立  
春の前の日を節分というようになり  
ました。冬から春へと新しい季節を  
迎えるにあたっては、悪い鬼や悪い病  
気が家の中に入らないように豆をまく  
て、悪い鬼や魔物を追い払う行  
事を行つてきました。それでも「節分」には、「鬼は外 福は内」

と、大声を出して豆をまくのは、そのため  
なのです。人間のこころの中には、よいく  
とを考えたり行ったりするこころも  
あります。ありますか、その反対になまけたいと  
いうこころ、少しでも樂をしていこう  
こう、人をうらやんだり、ゆたんだり  
するこころもあるのです。

このよくな悪いこころや、なまけこころ  
を自分のこころの中から追い払つて幸  
せをめざすために、節分では豆をまく  
のです。自分のこころの中の悪い鬼を  
追い出して、清らかなこころを持ちつ  
づけるようにしましよう。「鬼は外  
福は内」と大きな声で、みてみまよ  
う。鬼は、障子紙を舌でなめて、穴  
を開けて家のなかをのぞいたのです。  
その鬼の目をめかけて「鬼は外 鬼の  
めん玉ぶつぶせ」と、豆をなげました。

「り豆は、芽がでないからです。めざし  
は、目をつきまして見えないようにして  
かうです。人間は自分の生活を鬼が  
う見られるのがいやかったのですね。

・節分には、どうして豆をまくの

節分というのは、昔の、よみでは冬と春  
のさかい日のことで、寒い冬が終りて  
暖かい春がやってくる前の夜のことな  
のです。昔は、この節分の夜には鬼  
がやつてくると信じられていました。  
それでも寒い冬より、暖かい春のは  
うが好きでしょう。暖かく、草花も芽  
が出し、サクラも咲く春を、昔の人も  
今の人も待っていますね。この待ちに  
待つた春をお迎えしての前の夜に、

鬼が家にやつたら、みんなはどう

しますか。いやでしょう。追はうて  
しまった、気持ちになるでしょう。  
昔の人は鬼たちは「り豆」は芽がでな  
いので、いちばんきらいなものと思つて、  
たので、鬼のくろといわれて、「る」竹節  
分の夜に「り豆」を避けながら、「福」  
は内「鬼は外」とさけんで、鬼が家の  
中に入らぬようになつたのです。  
場所によつては、「福は内」「福は内」し  
かなければいけない地方もあります。これは  
「鬼は外」とさけぶと、鬼がおこつて戻  
つてしまふのをさけるための工夫  
です。農家の人にとつて豆は大切な  
ものです。ですから、その豆に幸福  
を招く願いをこめたのでしょうか。

・鬼つてなあにほんとうにいろの  
鬼はいますね。みんなのこうの中

にもうるのです。あの子をいじめてやれ  
少しこまかして、ウソをついておこう

人は、鬼のようにこわい顔になります  
から気をつけますようね。

他人のものだけとだまつて取つてもか  
うな「だらうしな」と考え、「いじめたり」  
「まかしたり」「温んだり」していふと  
は、その人はよー人間ではなく鬼のよう  
な人、鬼のこころを持つた人ですから、  
その人は鬼です。人間は弱いのですぐ、  
なまけごころあこるごろ、ぶりかなご  
ろに負けやすいのです。なまけごころが

出てきて勉強を途中でやめてしまった  
ひとの邪曲よきしょくを見るなれ、ひとの、れ  
りしたときは、ごころの鬼が勝つてしま  
つたのですから、その人は鬼に変わつて  
しまつたといえますね。どんなときでも、  
なまけな、あこるな、おろかなごろ  
を起こさないで、せのため人のためになる  
ことに努力する人は鬼ではなく人間です。  
は好事ある時は深く隨喜し、三つに  
は苦厄くがにあっても捨てざるなり(因果経)

出てきて勉強を途中でやめてしまった  
ひとの邪曲よきしょくを見るなれ、ひとの、れ  
りしたときは、ごころの鬼が勝つてしま  
つたのですから、その人は鬼に変わつて  
しまつたといえますね。どんなときでも、  
なまけな、あこるな、おろかなごろ

りしを想うべし  
朋友ほうゆうに三つの要法あり。一つに過失ほしゆ経  
「法句經」

るを見てはこれを諫め曉かし、二つに  
は好事ある時は深く隨喜し、三つに  
は苦厄くがにあっても捨てざるなり(因果經)